2024年4月作成

製品別比較表（案）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 後発品 | | | 標準品 | |
| 販売会社名 | ネオクリティケア製薬株式会社 | | | 太陽ファルマ株式会社 | |
| 製品名 | グラニセトロン静注液1mg「アイロム」  グラニセトロン静注液3mg「アイロム」 | | | カイトリル注1mg  カイトリル注3mg | |
| 一般的名称 | グラニセトロン塩酸塩 | | | | |
| 薬効分類名 | 5-HT３受容体拮抗型制吐剤 | | | | |
| 規格 | 1mg 1mL 1管、3mg 3mL 1管 | | | | |
| 薬価 | 1mg：368円  3mg：672円 | | | 1mg：594円  3mg：1,311円 | |
| 効能・効果 | 標準品と同じ | ○抗悪性腫瘍剤(シスプラチン等)投与及び放射線照射に伴う消化器症状(悪心、嘔吐)  ○術後の消化器症状（悪心、嘔吐） | | | |
| 用法・用量 | 標準品と同じ | 〈抗悪性腫瘍剤(シスプラチン等)投与に伴う消化器症状(悪心、嘔吐)〉  成人：通常、成人にはグラニセトロンとして40*μ*g/kgを1日1回静注又は点滴静注する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、症状が改善されない場合には、40*μ*g/kgを1回追加投与できる。  小児：通常、小児にはグラニセトロンとして40*μ*g/kgを1日1回点滴静注する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、症状が改善されない場合には、40*μ*g/kgを1回追加投与できる。  〈放射線照射に伴う消化器症状(悪心、嘔吐)〉  通常、成人にはグラニセトロンとして1回40*μ*g/kgを点滴静注する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、1日2回投与までとする。  〈術後の消化器症状（悪心、嘔吐）〉  通常、成人にはグラニセトロンとして1回1mgを静注又は点滴静注する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、1日3mgまでとする。 | | | |
| 規制区分  貯法  有効期間 | 劇薬、処方箋医薬品  室温保存  3年 | | | 劇薬、処方箋医薬品  室温保存  3年 | |
| 添加剤 | クエン酸水和物  塩化ナトリウム  pH調節剤（2成分）（塩酸、水酸化ナトリウム） | | | クエン酸水和物  塩化ナトリウム  pH調節剤（塩酸、水酸化ナトリウム） | |
| 製剤の性状 |  | |  |  |  |
| 1mg製剤 | | 3mg製剤 | 1mg製剤 | 3mg製剤 |
| 性状：無色澄明の液  剤形：水性注射剤（アンプル）  pH：5.0～7.0  浸透圧比：約1（生理食塩液に対する比） | | | 性状：無色澄明の液  剤形：注射剤（無色透明アンプル）  pH：5.0～7.0  浸透圧比（生理食塩液に対する比）：約1 | |
| 担当者、  連絡先 |  | | | | |